

開宴 雛人形展!

—かいえん ひなにんぎょうてん—

今年もお雛様の展示会がはじまりました。21 セット 28 点の資料が集まり、資料館を色鮮やかに飾り立ててくれています。



仙台陣屋 かわら版

第 96 号

(平成 25 年 3 月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

マメ知識

雛人形の源流は平安時代まで遡りますが、明治時代に入ってから一時期、雛祭の日にあたる桃の節句が公式的に廃止されたことがありました。不思議に思われるかも知れませんが、もともと五節句の習慣は江戸時代、幕府によって決められた、正式な行事であり、お祝いの日でした。

明治6年をもって、政府は暦の数え方を太陽暦へと変えます。あわせて祝祭日を改めて制定したため、奇数の重なる日を特別の日と考える、従来の太陰太陽暦・太陰暦・旧暦ともではなくなりました。つまり、3月3日にお祝いをする根拠がなくなりましたのです。

困ったのは人形作りをする職人です。関係者が声を集め、存続を願って政府に陳情した結果、3月と5月の節句についてのみ、実施の許可が下されたそうです。

体験 手作りのお雛様

今年で3回目となる【お雛様の手作り体験教室】を、2月9日(土)に行ないました。今回はおばあちゃんと一緒に来たお孫さんなど、小さな子の参加も目立ちました。なかには、ひとりて頑張って作り上げた小学生の女の子も。慣れない経験で大変そうでしたが、まわりの人たちにアドバイスをもらいながら、綺麗な夫婦雛を完成させました。



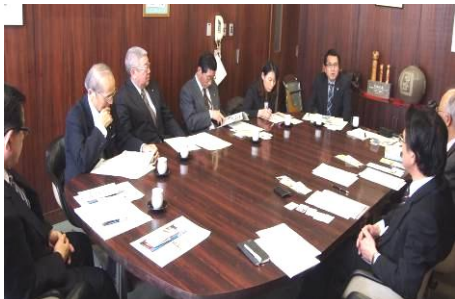
〈とっても上手にできました!〉

北斗市に新たな資料館？

北海道新幹線の建設に関して話題となることが増えた北斗市から、教育委員や市職員の方々8名が、白老町の文化財行政や仙台陣屋資料館の施設運営などについて視察のため、白老町を訪れました。

これまで北斗市では旧公民館を資料館として公開していたのですが、老朽化が進んだため移設を検討しているそうです。同館には、現在の道産米に繋がる品種である【赤毛】をはじめとした多種の稲や、珍しい鍛冶屋器具など、道内でも有数の貴重な資料が展示されています。

まだ先の話ですが、将来的に新幹線の停車駅が北斗市に整備されることで、市が所蔵する資料の注目度はこれまで以上に高まるでしょう。



大切な文化財を守るため

59回目を数える「文化財防火デー」の訓練が1月25日(金)、町の消防隊との合同により、アイヌ民族博物館を会場に実施されました。

【文化財防火デー】は以前、世界最古の木製建造物である奈良の法隆寺の文化財が、火災によって損なわれてしまったことを教訓とし、文化財保護と意識向上のために設けられた日です。

訓練は来場者の避難や文化財の搬出、ポンプ車が建物に放水し鎮火するまでを、実際の火災を想定しながら行なわれました。



〈冷たい雪が降る中での放水訓練〉

写真続々。でも…

以前からお願ひしていた白老の古い写真のご提供については、たくさんの方からご協力をいただき、かなりの数が集まってきました。資料館では3月の展示会において、これらの写真をお披露目できるよう準備を進めています。

まだ資料が少ない地域もありますので、引き続き情報・資料のご提供をお願いします。地域のお祭りや商店街の写真など、特に竹浦・飛生地区や萩野・白老の線路よりの北側の写真が不足気味です。さらや続々写真を募集していますので、情報をお寄せください。



〈昭和60年頃。本町裏手の旧JA〉

(社 正則氏提供)

「仙台陣屋かわら版 第96号 (平成25年2月号)」

発行日:平成25年2月19日(火)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・干場

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/>

Mail: jinya@town.shiraoi.jp